

三年

組名前

きつつきの商売

林原 玉枝 作・村上 康成 絵

読む力

①場面のようすを
よがら、音読する力。

②文しように
どうする（力）。

そ

【めあて】「

このプリン

①どんな

①どんなお

「キツツキの

れいをさんこう

れい（「スイミー」の場合）「くが…するお話。」のようにまとめるよ。」

スイミーがなかまと力を合わせて、大きな魚をおい出すお話。

*答えは一つではありません。いろいろなまとめ方があります。

◎「きつつきの商売」は、

だれ

きつつき

が、

何をする・どうなる

【ここは、先生が丸をつけます。】

お話です。

答え

りしように。

②内ようをせいりする。

これからの学しゅう
のながれを

文の内ようを

ここの学しゅう

とらえる

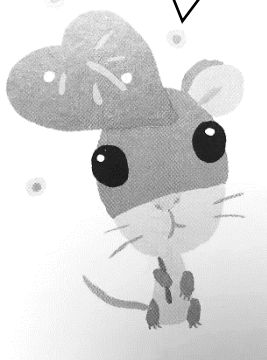
ふかめ

まとめ

ひろげる



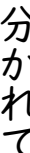
いつも物語を読むときには、
内ようを、一言でまとめる
くんれんをすると、読む力が
ついてくるわ。



②内ようをせいりしよう。

◎「きつつきの商売」という物語は、「1」と「2」の二つの場面に分かれています。それぞれの場面は、どのようなようすが書かれていますか。教科書に書かれていることばをつかって、ようすをせいりしましょう。

くらべると、ものごとの同じところやちがうところを、せいりすることができるとよ。



くらへると、ものごとの同じところやちがうところを、せいにすることができるよ。

登場人物						
	店の人	おきやく	場所	天気	きつつきが聞かせた音	音のようす (カタカナで)
「1」場面	きつつき	野うさぎ	ぶなの森	晴れ(天気のよい日)	【ぶなの木の】の音	コーン
	きつつき	野ねずみたち(家族)	ぶなの森	雨(の日)	【雨】の音	シャバシャバシャバ、パシパシピチピチ パリパリパリ、ドウドウドウ、 ザワザワザワ
						ただ

【ひっすかだい】 国語5月12日はいふ



◎二つの場面をくらべて、あなたは、「一」場面のおきやくと

「2」場面のおきやくのどちらのおきやくさんになりたいかな。

*理ゆう（わけ）は、教科書の中のことばや文をつかって、書くといいよ。
理ゆう（わけ）のおわりは、「くからです。」という書き方をするよ。

「ぼくは、わたしは、」

「の場面のおきやくになりたりです。」

わけは、

自分の考え

【ここは、先生が丸をつけます。】